

# I 平成18年度事業報告

## 第1 事業の概要

平成18年度は、外国人市民への支援に重点を置き、相談窓口に英語・中国語・韓国語・スペイン語に加え、新たにポルトガル語の嘱託職員を配置するとともに市民や外国人市民が情報収集をしやすいするため情報ラウンジにパソコン2台を設置したほか、災害時における通訳ボランティア育成を図るための研修を開催した。

また、スイス・モントルー市と姉妹都市提携10周年を記念し、市民親善訪問団を派遣して、両市の友好親善と市民レベルでの交流を図るとともに中国天津市と友好都市提携20周年を記念して文化芸術団を招聘し、伝統芸能を千葉市民に紹介した。

さらに次代を担う青少年にお互いの国の文化・歴史等を理解してもらうため、カナダ・ノースバンクーバー市、アメリカ・ヒューストン市及びスイス・モントルー市との青少年交流事業を引き続き実施するなど、限られた財源を有効に活用し、事業展開を図った。

## 第2 実施事業の内容

### 1 自主事業

#### (1) 多文化理解推進事業

##### ア 交流サロン

市民と外国人市民が気軽にふれあい、情報交換や国際化の理解を深めることができる場を設け、相互の交流の促進を図った。

内 容	開 催 日	テ ー マ	参 加 者
市民と外国人市民のフリートーク形式による交流会（5回）	7月22日	馬頭琴演奏の鑑賞と茶道体験	計 304人  (うち外国人 109人)
	8月20日	PAP（親子三代夏祭り「ちば踊り」）	
	9月9日	ラテンアメリカの紹介と料理試食	
	1月20日	迎新春茶話会	
	3月26日	カポエイラを通してブラジルを知ろう	

##### イ 国際交流推進スピーチ大会

日本語を学ぶ外国人市民が、日本における生活体験等についてスピーチを行ない、学習成果の発表を行った。

内 容	開 催 日	会 場	発 表 者	参加者
外国人による日本語スピーチ大会	10月14日	国際交流プラザ会議室	11か国12人	131人

##### ウ 語学講座

###### (ア) 英語サロン

英語を楽しみたい、親しんでみたいという賛助会員及びボランティア並びに英語に触れてみたい児童を対象に新聞、小説やビデオ、絵本等を使用した英語サロンを実施した。

内 容	受講時間	開催数	講 師	受講者
英語サロン	2時間×11日	2回	前期：デニース・ワイアット氏 後期：リサ・マリン氏	38人
こども英語サロン	45分×1日	2回	ナミ・カスヤ氏 リサ・マリン氏	34人

(イ) 中国語・韓国語

国際理解の向上とボランティア活動の一助とするためにボランティア及び賛助会員を対象に語学講座を実施した。

内 容	受講時間	開催数	講 師	受講者
中国語初級	2時間×20日	1回	劉 萍 氏	14人
韓国語初級	2時間×20日	1回	姜 龍熙 氏	10人

エ 国際協力講座

国際協力の必要性や理解を深めるための啓蒙事業をJICAと共同で開催した。

内 容	開催日	会 場	参加者
JICA 広尾の協力による中国天津市の紹介やミニ公演会	10月23日	真砂第二小学校	児童・保護者等445人

オ 青少年交流

姉妹都市の市民相互の交流を促進し、次世代を担う青少年にお互いの国の文化・歴史・習慣等について理解を深めるため、引き続き青少年交流事業を実施した。

内 容	期 間	参 加 者
千葉・ノースバンクーバー市 (37回目)	(受入) 7月31日～8月23日 (派遣) 8月2日～8月25日	高校生4人 引率者1人 高校生4人 引率者1人
千葉・ヒューストン市(24回目)	(受入) 6月10日～6月24日	中学生6人 引率者1人
千葉・モントルー市(9回目)	(派遣) 7月31日～8月9日	青少年3人 引率者1人

カ モントルー市民親善訪問団

姉妹都市提携10周年を記念し、スイス・モントルー市へ市民親善訪問団を派遣して、両市の友好親善と市民相互の交流を図った。

内 容	期 間	参 加 者
モントルー市等への市民親善訪問団の派遣	10月23日～10月30日	35人

キ 千葉市国際文化フェスティバル

「国際交流都市・千葉市」を内外にアピールするとともに、市民の国際理解を深めるため、官民一体となった実行委員会を組織し、姉妹友好都市から文化・芸術団体を招いて伝統芸能を市民に紹介した。

内 容	開催日	会 場	参加者
友好都市提携20周年を記念し、中国天津市から「中国天津芸術団」を招き、伝統芸能を市民に紹介	10月21日	市民会館大ホール	1,000人

(2) 市民活動支援事業

ア 国際交流ボランティア登録・斡旋

地域に根差した国際交流及び多文化共生の推進を図るため、通訳、日本語指導等のボランティア登録及び斡旋を行った。

内 容	登 録 者	斡 旋
通訳	337人	16人
災害時通訳	141人	—
翻訳	183人	2人
ホームステイ	118家庭	17家庭
ホームビジット	153家庭	22家庭
日本語学習支援	933人	596人
学校派遣	84人	10人
国際交流支援	377人	48人
文化紹介	158人	19人
合計	2,484人、家庭	730人、家庭

イ ボランティア研修

(ア) 日本語学習支援ボランティア講座

外国人市民に対し、日常生活に必要な日本語の学習を支援するボランティアの育成を図るための講座を実施した。

講 座	内 容	受講時間	開催数	講 師	受講者
入 門	これから日本語学習支援を始めるボランティアのための基礎的な予備知識の習得	2時間×1日	6回	松本明子 氏	52人
養 成	具体的な日本語学習支援の方法を学ぶボランティアのための講座	3時間×16日	2回	松本明子 氏	70人
実 践	日本語学習支援経験者の資質向上を図るための講座	2.5時間×10日	1回	松本明子 氏 伊藤三枝子 氏	16人

(イ) 災害時通訳ボランティア研修

災害時における外国人市民とのコミュニケーション能力を有するボランティアを育成するため研修を実施した。

内 容	開 催 日	会 場	参加者
大規模災害の実情と災害時における通訳の心構え	11月24日	国際交流プラザ会議室	61人

(ウ) 日本語ボランティア交流会

日本語学習支援ボランティア相互の情報交換や交流の場を提供するとともに AJALT に講師を依頼し日本語学習に関するアドバイスを実施した。

内 容	開 催 日	会 場	参加者
日本語学習支援に関する相談及び情報交換	7月 7日 3月 9日	国際交流プラザ会議室	68人

ウ 国際交流・国際協力団体活動助成

内 容	助成団体数
民間ボランティア団体の自主的な国際交流・国際協力活動の促進を図るため、市民団体の活動事業に要する経費の一部について助成	6団体

エ ちば市国際ふれあいフェスティバル支援

外国人市民と市民の交流の場を創出するとともに、団体相互の連携を図るため、「ちば市国際ふれあいフェスティバル」の支援を行った。

内 容	開 催 日	場 所	参加団体	参 加 者
ステージ発表、パネル展示による活動紹介、バザー、書道の体験等	2月25日	センシティタワー	国際交流団体 39団体	1,700人 (うち外国人350人)

オ 日本語教室ネットワーク

市内の日本語教室24ヶ所を協会のホームページに掲載し紹介する等、ネットワーク化を図った。

内 容	各区活動把握団体数
日本語教室を実施している団体	中央区6団体 花見川区3団体 稲毛区5団体 緑区2団体 美浜区8団体 (若葉区は無し)

(3) 外国人市民支援事業

ア 外国人生活相談

外国人市民に対し、言語や習慣の違いから生じる日常生活の問題を解決するための窓口を設け、相談及び情報提供を行った。また、電話の三者通話機能を利用して、電話通訳サービスを行った。

内 容	言 語	方 法	件 数
外国人市民に対する相談	英語、中国語、韓国語、 スペイン語、ポルトガル語	相談窓口、電話、 パソコン等	1,455件

イ 外国人法律相談

外国人市民が直面する法的課題を解決するため、千葉県弁護士会の協力により無料法律相談を実施した。

内 容	回 数	会 場	相 談 者
日常生活に関する法律相談	6回 (奇数月)	国際交流プラザ会議室	14人 (10カ国)

ウ 留学生へのリサイクル自転車斡旋

留学生の生活支援を目的に、千葉市自転車商協同組合及び市の協力を得て、留学生が在籍する市内の大学へリサイクル自転車の斡旋を行った。

内 容	寄 贈 日	斡 旋 先
リサイクル自転車の寄贈	3月15日	千葉大学 15台 神田外語大学 15台

エ 留学生学習奨励

市内大学に通う私費留学生の学習支援の一環として、図書購入費用の一部を支援した。

内 容	対 象	交 付 先
図書購入費の一部支援 (図書券5千円の交付)	私費留学生	市内6大学 375人

オ 多言語情報誌発行

長期滞在する外国人市民に対し、市民生活に密着した生活情報である市政だより等を外国語に翻訳し、ホームページに掲載するなど生活情報を提供した。

内 容	発 行	言 語
ホームページ掲載及び多言語情報誌の発行	月1回	英語・中国語

(4) 情報収集・提供事業

ア 協会情報誌発行

協会事業の案内及び報告、国際交流・理解等に関する知識及び意識の向上を図るため、市民向けに日本語情報誌を発行した。

内 容	発 行	部 数	配 布 先
協会情報誌「ふれあい」の発行 (日本語) 48～51号(6ページ)	6月、9月、12月、3月 (年4回)	各3,000部	市民、賛助会員、 市内公共施設等

イ 英語版情報誌発行

外国人市民等を対象に、イベント情報や国際交流・理解に関する情報を提供するため英語版情報誌を発行した。

内 容	発 行	部 数	配 布 先
英語版情報誌「The New Gateway」の発行 29～32号（8ページ）	6月、9月、12月、3月 （年4回）	各3,000部	大学、市内公共施設、ホテル等

ウ ホームページ運営

協会の事業内容や外国人市民の生活に必要な情報について、インターネットを通じて幅広く発信した。

内 容	時 期	対 象
協会事業、生活情報、イベント情報等を提供 （日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語）	随時更新	市民、外国人市民等

エ 情報ラウンジ

外国語の雑誌・新聞や国際交流・国際協力に関する図書等を整備するとともに情報コーナーにおいて協会PRを実施した。また、平成18年度は新たにパソコンを設置し、外国人市民が自由にインターネットを活用して情報収集を行うことのできるコーナーを整備した。

内 容	時 期	場 所
国際交流・国際協力などに関する関係図書等の整備（定期購読紙 19種）	通年	国際交流プラザ情報ラウンジ
パソコンの整備（2台）		

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた国際交流事業の実施

ア 千葉市国際交流プラザ運営業務

内 容
国際交流の場の提供や、外国人市民に対する相談、情報の提供などを業務としている「千葉市国際交流プラザ」の運営業務を受託